

私達生命有るものは、常に体や心をわずらわし  
なやまして生きております。その元になる欲を  
「煩惱」<sup>ボンノウ</sup>と云います。煩惱には様々あって、数え  
れば108とも、それを滅するようと108の除夜<sup>ジョヤ</sup>  
の鐘が打たれます。その代表的なのが「貪瞋癡」<sup>トンジンチ</sup>  
の「三毒」<sup>サントク</sup>です。

「煩惱即菩提」<sup>ボンノウソクボダイ</sup>、私達の持っている煩惱があるから、菩提すなわち迷いから目覚めることができ、  
さとりに近づくことができるのです。私達はさと  
りを得る素を持っているのです。それを「仏性」<sup>ブツショウ</sup>  
と呼びます。今風に云えば、さとりを得て仏とな  
るDNA<sup>ソナ</sup>が具わっているのです。浄土宗の宗祖<sup>シュウソ</sup>  
法然上人<sup>ホウネン</sup>は「罪人<sup>サイニン</sup>なを生る、況や善人<sup>イワン</sup>をや」と申  
されています。善い人<sup>ネンブツ</sup>はおろか悪い人も念仏<sup>ネンブツ</sup>  
を念ずること<sup>ジョウブツ</sup>によって成仏<sup>ホトケ</sup>（仏となる）するの  
ですよと。